



太陽はどうして東からのぼって西にしずむの

地球が自転している

わたしたちが電車で乗って、まわりの景色をながめっていると、まわりの景色が動いているように見えます。これは、電車が動いているので、まわりの景色が、電車の進む方向と反対に動いているように見えるのです。

太陽が東の空から出て南の空を通り、西の空にしずんでいくように見えるのは、地球が自転(自分で回る)しているからです。わたしたちが、電車で乗ってまわりの景色を見ているとき、同じことがいえるのです。

地球が西から東に動いている

地球を北極の真上から見るとすると、地球は時計の針と反対の向き、西から東に、1日に1回、自転しています。それで太陽は、地球が動く向きと反対の、東から西に動いているように見えるのです。

自転している地球の片側は、太陽の方を向いています。太陽の方を向いている側は、太陽の光にあたっているので、昼間です。その反対側は、太陽の光があたっていないので、夜になっています。

しかし、地球が少しずつ動いているので、太陽の光があたるところが少しずつ動き、太陽の光が、あたり始めるときが朝になり、太陽が東の方からのぼってくるように見えるのです。(監修・国司 真)

